



決め手は、青森県産。

りんご生産情報第12号
(10月9日～10月22日)



令和3年10月8日発表 樹上選果マン
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

ジョナゴールドの熟度は、3日程度早い！
収穫は適期に!!
台風に備え、風害防止対策を万全に!!!

I 概要

10月1日現在の果実肥大は、概ね平年並から平年をやや下回っている。

10月7日現在、ジョナゴールドの熟度は平年より3日程度早く進んでいることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月10日頃、無袋果が10月12日頃からと見込まれる。

炭疽病、輪紋病などの被害果は適切に処分し、シンクイムシ類の被害果は健全果に混入しないよう徹底して選別する。

果実疫病の感染を防ぐため、果実に泥が付着しないように注意する。反射資材を片付ける際に土を飛散させたり、収穫した果実は長く野積みをしない。

台風や強風に備え、防風網の点検、補強など風害防止対策をしっかりと行う。

II りんご生産情報

1 果実肥大、果実熟度、作業の進み

(1) 果実肥大

10月1日現在のふじの果実肥大は、概ね平年並から平年をやや下回っている。

○果実肥大 (10月1日現在、横径cm、平年比%)

地 域	年	ジョナゴールド	ふ じ
黒 石 (りんご研究所)	本 年	9.3	8.6
	平 年	9.1	8.5
	前 年	9.8	8.7
	平年比	102	101
青森市浪岡 (東青地域県民局)	本 年	-	8.3
	平 年	-	8.2
	前 年	-	8.4
	平年比	-	101
弘前市独狐 (中南地域県民局)	本 年	8.7	8.2
	平 年	8.9	8.5
	前 年	9.0	8.6
	平年比	98	96
板柳町五幾形 (西北地域県民局)	本 年	8.8	8.5
	平 年	9.3	8.5
	前 年	9.3	8.5
	平年比	95	100
三戸町梅内 (三八地域県民局)	本 年	8.6	8.3
	平 年	8.8	8.3
	前 年	8.5	8.2
	平年比	98	100

注 各県民局のデータは農業普及振興室の生育観測ほ調査データ

(2) 果実熟度

ア ジョナゴールド (無袋)

10月7日現在の熟度は、平年値と比較して、糖度は高く、ヨード反応指数はやや高く、硬度及び着色指数はやや低く、酸度は低い。総合的に見て、熟度はやや進んでいる。

○ジョナゴールド (無袋) の熟度の進み (調査月日：10月7日)

地 域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応
黒 石 (りんご研究所)	本年	344	2.3	14.8	14.9	0.490	2.6
	平年	336	2.5	15.2	13.6	0.522	2.4
	前年	375	1.9	15.1	12.7	0.556	2.5

注1 平年：2001年～2020年までの20か年平均。

2 着色指数：0～5 (大きい数値ほど着色良好)

3 ヨード反応：ヨードでんぷん反応指数0～5
(小さい数値ほどでんぷんが少ない)

イ ふじ

10月7日現在、有袋ふじは平年値と比較して、糖度は高く、ヨード反応は同程度、硬度はやや低く、酸度及び着色指数は低い。総合的に見て、熟度はやや進んでいると見込まれる。

無袋ふじは平年値と比較して、糖度は高く、ヨード反応は同程度、着色指数はやや低く、硬度及び酸度は低い。総合的に見て、熟度はやや進んでいると見込まれる。

○ふじ（有袋）の熟度の進み

（調査月日：10月7日）

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程度
黒石 (りんご 研究所)	本年	298	1.1	16.5	13.3	0.382	3.4	0	0
	平年	291	2.5	17.1	12.1	0.411	3.5	4	0.0
	前年	312	1.2	15.5	11.6	0.351	3.1	0	0

注1 平年：2003年～2020年までの18か年平均。

2 除袋日：9月24日外袋、29日内袋

3 蜜入り程度：0～4（大きい数値ほど蜜入りが多い）

○ふじ（無袋）の熟度の進み

（調査月日：10月7日）

地域	年	果重 (g)	着色 指数	硬度 (lbs)	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	ヨード 反応	蜜果率 (%)	蜜入り 程度
黒石 (りんご 研究所)	本年	303	1.6	16.0	14.0	0.359	3.5	0	0
	平年	300	1.9	16.8	12.5	0.413	3.5	21	0.2
	前年	315	1.1	15.4	12.1	0.366	3.0	0	0

注 平年：2001年～2020年までの20か年平均。

(3) 作業の進み（10月6日現在）

トキの収穫はほぼ終了し、早生ふじの収穫が終盤を迎えている。

ジョナゴールドの除袋や葉摘みはほぼ終了し、ふじの葉摘みが行われている。

2 作業の重点

(1) 中生種の収穫

ア ジョナゴールド

熟度は平年より3日程度早く進んでいることから、収穫始めは黒石で有袋果が10月10日頃、無袋果が10月12日頃からと見込まれる。有袋果は10月17日頃まで、無袋果は10月22日頃までに収穫を終える。

収穫時期が早すぎると酸味が強すぎるばかりでなく、貯蔵中のビターピットの発生が多くなるので適期に収穫する。無袋果は収穫時期が遅すぎると油あがりや貯蔵中の軟化、ゴム病の発生が多くなるので適期に収穫する。

ジョナゴールドの収穫時の標準指標

	硬度	糖度	ヨード反応	食味
有袋	15～17ポンド	13%以上	2.5以下	3以上
無袋	14～16ポンド	13.5%以上	2以下	3.5以上

注) 食味：指数1（未熟）～5（非常に良好）

イ シナノスイート

収穫時に地色が黄色く、油あがりが見られる果実は、心腐れ果の可能性が高いので、見つけ次第摘み取る。

なお、平年の収穫始めは10月10日頃である。

シナノスイートの収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
13～15ポンド	14%以上	2以下	4以上

ウ 千 雪

果皮色が濃紅色になった頃が収穫の目安である。着色が揃わない場合は2回に分けて収穫する。

なお、平年の収穫始めは10月18日頃である。

千雪の収穫時の標準指標

硬度	糖度	ヨード反応	食味
17～19ポンド	14%以上	1.5以下	4以上

(2) 中生種の収穫後の管理

収穫した果実は、すみやかに冷蔵施設への搬入や出荷を行う。ただし、千雪は、収穫後直ちに冷蔵施設に搬入すると軟性やけ症が発生しやすいので、収穫後に、10℃程度の環境で5～7日間保持してから冷蔵施設へ搬入する。

(3) 晩生種の着色手入れ、樹上選果

葉摘み作業と並行して、果実に十分日光が当たるように、支柱の位置を動かしたり、小枝をひもで吊り上げたり、不要な徒長枝を切り取る。

また、着色手入れの際に、肥大や形の悪い果実、病虫害被害果、障害果は摘み取る。

(4) 病虫害対策

ア シンクイムシ類

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

被害果を流通させないために、収穫した果実は選果時に徹底して選別する。

イ 果実疫病（おそ疫病）

反射資材を片付ける際には、土を飛散させないようにし、りんご樹にかけて干さない。収穫用のかごや箱の土はあらかじめ洗い落としておく。

降雨時の収穫は行わない。やむを得ず収穫する場合は、果実に泥が付着しないように注意する。地面に落ちた果実は収穫した果実に混入させない。収穫した果実は長く野積みをしない。

ウ 炭疽病、輪紋病

被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

エ 腐らん病

収穫時につる折れ、つる抜けとして残ったつるから病原菌が侵入し、来年以降の発生につながるので、つるが果台に残らないように丁寧に収穫する。つるが残った場合は必ず果台から取り除く。

オ 黒星病

被害葉・果は感染源となるので、見つけ次第摘み取り、適切に処分する。

二次伸長葉に黒星病の発生が見られた場合は、来年の感染源となるので、必ず摘み取って処分する。

(5) 晩生種（黄色品種）の収穫

シナノゴールドなどの黄色品種は、収穫時期の判断が難しいので、「収穫時の標準指標」を目安に「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」を利用して適期に収穫する。平年の収穫始めは、星の金貨が10月25日頃、シナノゴールドが10月26日頃である。



▲「りんご黄色品種青森県標準カラーチャート」

【お問い合わせ先】

(公財) 青森県りんご協会

電話 0172-27-6006

(6) 風害防止対策

台風の接近や強風に備え、防風網やわい性台樹の結束状況などを再度点検し、補強や取り替えを行う。

幹や主枝などに空洞が生じている樹や腐らん病の被害を受けた枝や樹は、支柱で支え、ひもなどで補強する。幼木は倒伏しやすいので支柱を立てて結束する。

3 一般作業

- (1) 鳥害防止対策 (2) 野ネズミ対策

4 今後の作業予定 (10月23日～11月5日)

- (1) 晩生種の収穫 (2) 病害虫対策 (3) 風害防止対策
(4) 鳥害防止対策 (5) 野ネズミ対策

《 「あおり9」の生果実流通 》

現在、「あおり9」は「彩香」の商標名で販売されていますが、令和7年10月27日で商標の使用契約が満了となり、「彩香」を使用できなくなります。ついでには、令和7年10月27日以降は、「あおり9」で販売してください。

《 農業保険に加入し、農業経営に万全の備えを!! 》

農業保険には、果樹共済、農業経営収入保険などがあります。自分の経営にあった保険を選択、加入して、自然災害をはじめとしたリスクに備えましょう。
※詳しくは、お近くの農業共済組合まで、お問い合わせください。

秋の農作業安全運動展開中！事故のないよう十分注意しましょう！

園地を見回るなど、りんごの盗難に注意しましょう！

次回の発行は令和3年10月22日（金）の予定です。

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

連絡先：りんご果樹課生産振興グループ
電話番号：017-722-1111代表
内線5093、5094
017-734-9492直通